

年間授業計画（令和5年度）

東京都立 東 高等学校

科目（単位数）	数学A演習(2単位)		
対象学年・(組・コース)	3 学年	(理系)	選択（必修・ <u>自選</u> ）
使用教科書（出版社）			
副教材等	改訂版リンク数学 演習 I ・ A（受験編） a+b+c		

学期	学習内容	学習の目標・留意点	学習活動（具体的に） 「読解力」「言語力」 「論理的思考能力」の育成
1 学期 (26) 時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集合 ・ 命題の真偽・否定 ・ 必要条件・十分条件 ・ 倍数・約数の個数 ・ 場合の数 ・ 順列 ・ 組合せ ・ 確率 ・ 反復試行 	<p>使われる特殊な表現や記号に慣れ、理解できるようにする。</p> <p>命題の真偽が確実にわかるように集合の概念をしっかりと身につけさせる。</p> <p>パターンが多く公式だけで解きにくい分野のため、出来るだけ多くの問題に触れさせて慣れさせる。</p> <p>問題の意味を理解しやすいよう図を多用させる。</p>	<p>特に命題と必要・十分条件で論理的思考能力、条件の意味するものを読み取る読解力の育成を図る。</p> <p>この分野はほぼすべてが文章題であり、問題の意図するものを読み取る読解力と、きちんと数えあげ・計算が出来る論理的思考能力を養う。</p>

	後半	<ul style="list-style-type: none"> ・円周角・内接四角形 ・接弦定理・方べきの定理 ・五心と辺の比 ・チェバ・メネラウスの定理 	<p>複合問題が多いこの分野でも図の条件から使える公式を選べる力をつけさせる。</p> <p>また、数学 I の三角比を絡ませる問題も多いので必修選択の数 I との連携を図る。</p>	<p>図から必要な条件を抜き出す読解力と、逆に解答を導き出すためにどんな条件が必要なのかを考えさせることにより論理的思考能力を身につけさせる。</p>
2 学期 (28) 時間	前半	総合演習	<p>実際の受験問題に触れさせてより実践的な力を身につけさせる。</p>	<p>現実の受験問題を通して読解力と論理的思考能力の向上に努める。</p>
	後半	総合演習	<p>実際の受験問題に触れさせてより高度な複合問題に取り組んでゆく。</p> <p>また1セットの受験問題に取り組み時間の感覚を身に着ける。</p>	<p>また、正しい答案の書き方の指導を通して言語力を身につけさせる。</p>

3 学期 (16) 時間		総合演習	取りこぼしをなくし弱点を補完するように努める。	更にきれいな答案を目指し、言語力に磨きをかける。
-------------------------------	--	------	-------------------------	--------------------------

評価の観点・視点

定期考査に加え、レポート等の提出状況、授業への取り組み等を平常点として考慮して行う。